

平成 27 年度 第 8 回 理事会 12 月 7 日(月) 19:00～ 富山病院

参加者：田村・広野・作田・浅生・谷口・橋爪・吉波・島津・小倉・森・高林

〈報告事項〉

1. 1 月 16 日 47 都道府県委員会－田村会長出席予定
2. 12 月 18 日 認知症初期集中支援チームについて、県高齢福祉課との話し合い予定
－田村会長、齊藤理事
3. 11 月 28 日 東海北陸支部会議
 - ①東海北陸リーダー研修会について、各士会とも参加者に苦慮している。当面、一巡する迄は、この研修会を継続。次年度、富山県士会の予定。
 - ②第 15 回東海北陸作業療法学会について(11 月 28 日、29 日岐阜市にて開催。参加 457 名) 富山県士会発表者は 4 演題。参加者 9 名。演題数が少なく、今後県外の学会に発表するよう意識づけをしていく方法を検討していく必要がある。
第 16 回東海北陸作業療法学会は、担当石川県。場所は石川県地場産業振興センター。
 - ③都道府県連絡協議会の今後について、47 委員会と調整。まだはっきりしないが、解散になる可能性も出ている。
 - ④どの県も三協会の主導権を PT 県士会がとっているが疑問の声も出ている。
4. 生活行為向上マネジメント研修会
 - ・来年度は 5 月と 10 月に一日研修会を予定。
 - ・ 7 月・ 12 月に事例検討会を予定。
 - ・事例検討会に際しては、各部会に MTDL P 担当者を置き、担当者が発表者と参加者の取りまとめをする。部会に所属していない会員は、MTDL P 委員会の担当者窓口へ直接申し込む。
 - ・ 1 グループ発表者 4 名、参加者 2 名の計 6 名で構成。4 グループに 1 名のファシリテーターがつく。1 回の事例検討会に 8 グループ 32 名の発表者を予定。年 2 回開催するので計 64 名のファシリテーターを養成する予定となる。
5. 11 月 28 日 介護予防研究会

11 名の参加。士会の活動(高林)と MTDL P について(松岡)報告。MTDL P について、より他職種に理解してもらう努力が必要。
6. 11 月 21 日 在宅医療研修会－作業療法士 20 名～30 名の参加。
7. 「地域ケア会議個別会議(模擬研修会)に関するモデル研修」11 月 29 日、臨床福祉専門学校(東京都)で開催。参加者：橋爪・赤尾氏。
模擬会議(グループワーク)を実施。研修内容は DVD 編集の上、各士会に配布予定。

スキルアップのための研修会を POS 合同で実施していく。

*OT が派遣してもらえるシステム作りが、どの県も悩みとなっている。

〈検討事項〉

1. 28 年度事業計画案の検討

- ・ 会員と非会員の研修会参加費を倍の差をつける。
- ・ 参加費は、会場費・謝礼・交通費を考慮し、尚かつ研修時間も考慮して決めていく。
- ・ MTDLP・地域ケア会議・認知症初期集中支援の推進に関しては、金額も大きいため会計報告に欄を作り載せる。

2. 12 月 16 日全体会の進行

- ・ 研修会については、予定表を配り、大体の予定をいれてもらう。具体的日程が決まったら、学術局長に報告する。6 月総会までには、全ての講師・日程を決めてもらう。
- ・ 研修会会費、MTDLP・地域包括ケア・認知症初期集中支援チームについて説明。
- ・ 3 月～4 月（平日夜）に地区別に会議を開催し、地域包括ケア関連・MTDLP・認知症初期集中支援チーム・災害リハ・士会費について理解を求めていく。

3. OT 協会 50 周年事業について企画していく。

4. 東海北陸リーダー研修会を 11 月 5 日、6 日開催予定。

次回、理事会 1 月 18 日（月）19 時～富山医療福祉専門学校。